



◆ ドイツ連邦議会選挙～事前予想通りメルケル首相勝利～

【欧州選挙イヤー：ドイツ連邦議会選挙】

2017年9月24日（現地時間）にドイツ連邦議会選挙の投票が行われ、事前予想通り与党キリスト教民主同盟（CDU）及びキリスト教社会同盟（CSU）による連立与党が他の党を引き離し、第一党となる見通しです。

今回の選挙についてはドイツ経済の好調さやこれまでの実績を踏まえメルケル首相に対する支持率が相応に高かったこと、また直前に行われたテレビ討論会の結果等から大きな混乱は生じないとの見方が優勢でした。

【図表】各政党の得票率予想

政党	特徴	得票率（予想）
キリスト教民主同盟（CDU） キリスト教社会同盟（CSU） による与党連合	<ul style="list-style-type: none"> ✓ CDU党首であるメルケル首相を筆頭に連立政権を形成 ✓ 改選前の議席数：合計310議席 	32.5%
社会民主党（SPD）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ メルケル首相の対抗馬と目されたシュルツ氏が党首の中道左派 ✓ 改選前の議席数：193議席 	20.0%
ドイツのための選択肢（AfD）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 極右政党 ✓ 改選前の議席数：議席なし 	13.5%
自由民主党（FDP）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中道右派 ✓ 改選前の議席数：議席なし 	10.5%
同盟90（B90/緑の党）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 進歩主義 ✓ 改選前の議席数：63議席 	9.5%
左派党（Linke）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 左派 ✓ 改選前の議席数：64議席 	9.0%

【メルケル首相は続投 今後の連立協議に注目】

CDU/CSUが第一党となる見込みであることから、メルケル首相の4選が確実となりました。ただし、前回2013年の選挙ではCDU/CSUは4割を超える得票率を獲得していたことから、メルケル首相は勝利宣言で「もちろん、もう少し良い結果を期待していた」とも述べています。

また、改選前には第二党の議席数を有していたSPDは得票率を大幅に低下させるとともに、CDU/CSUとの連立を解消する模様です。

その一方で、メルケル首相の移民政策に反対している極右政党AfDが初めて連邦議会で議席を獲得するとともに、第三党に躍進する見込みとなっています。

第一党とはなったものの、CDU/CSUの得票率の低下が予想されることから、今後は各政党との連立協議が焦点となります。

今回メルケル首相の続投が確実となったことで、ポピュリズムの台頭等が懸念材料となっていた欧州各国での選挙戦にも一つの区切りが付いたことから、今後は各国の政策等に注目が集まるものと考えられます。

出所：各種資料を基にドイチェ・アセット・マネジメント側が作成

※本レポートは日本時間2017年9月25日朝の段階の情報を基に作成しております。

※データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報及び見通しは、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄・企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

■ レポートの作成・配信は

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

EURO EXPRESS

臨時レポート



ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
 - 換金（解約）時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限1.0%
 - 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%程度（税込）
 - その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
- 投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

«ご注意»

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会